

常任委員会

3校団地を徹底調査

こんなことを聞きました

常任委員会とは？

その部門に属する町の事務に関する調査を行い、また、議案、請願・陳情等を審査します。本町議会では、3常任委員会に分かれています。

総務 委員会

総務 委員会

総合計画、財政、税務、庁舎管理、交通安全、防災防犯力メロ啓発、広報、コミュニティ、選挙等に関すること

文教厚生 委員会

学校教育、保育園、生涯学習、スポーツ、図書館、健康、高齢者、障がい福祉、保険・年金等に関すること

経済建設 委員会

道路、河川、バス、防犯灯、ごみ、環境、農業、消費生活、観光、建築、都市計画、公園、上下水道、戸籍等に関すること

令和3年度 一般会計決算 コロナ禍の影響

Q 決算状況および町内企業へのコロナの影響は。

A 町税全体は、影響を受けているものの、見込みより限定的になった。

Q 3年度新規事業

A 三世代近居等定住促進補助金の実績が60万円と少ない要因および

Q 三世代近居等定住促進補助金の実績が60万円と少ない要因および

A 改善点は、4年度より事前相談手続きを廃止し、

町民税法人の収入は減少しており、コロナの影響と認識している。

Q ふるさと寄附事業の減少

A ふるさと寄附が減った要因は。

Q 家員の申し込み数が減少したことである。

Q 三世代近居等定住促進補助金の実績が60万円と少ない要因および

A 改善点は、4年度より事前相談手続きを廃止し、

検討した改善点は。

Q 事前相談を受け付けた8件中7件が注文住宅で、コロナによる材料費の高騰や住宅設備・資材不足等により、契約から完成までに約1年以上を要する状況となった。

A 実績の少なさは、制度の認知不足、事前相談の期間（契約から30日以内）が要因と考える。

Q 中央図書館の指定管理

A 4年度より、(株)図書館流通センターによる管理運営が行われている。



▲民間事業者により運営されている

転入後に申請可能としたこと。また、町内賃貸住宅居住者も対象に追加し、転出の抑制を図っている。

三世代同居近居 30万円
東浦町で住宅を新築・購入する方に補助！

子世代
★夫婦ともに年齢が49歳以下
★小学生以下の子どもと同居
★住宅の契約日より前1年以上、親世代と同居していない など

親世代
★交付申請前に3年以上町内に住んでいる など

建物
市街化区域内に新築・中古の戸建て、マンションなど新築・購入 など

Q 指定管理者制度^①が導入された中央図書館の指定管理者選定においては、公募からの民間事業者選定時の採点結果を公開すべきではないか。

A 結果を公開することは、事業者への影響と住民への説明責任のバランスを踏まえ、個別案件ごとに慎重に判断する。

災害時のプールの活用

小学校の水泳授業が、順次民間委託されることによる、その後の活用。

Q 小学校プールを、地域での消防活動の際の

水利施設とする検討は。現在では、災害時等の消防水利と位置付けている。今後プールが撤去される際には、周辺住宅等に影響が無いよう別の水利確保が必要と考える。

大学連携事業

Q 東浦町大学連携創生事業費補助金の対象事業の概要は。

A 対象事業は、名古屋大学大学院環境学研究科による町内3団地を対象とした郊外住宅団地の持続可能性に関する研究。

研究結果は、調査した団地では今後10年で、20〜35%の住宅が空き家になる可能性が懸念されるというもの。団地の魅力を高めるための方策として、体制や活動内容の工夫、自治会以外の結びつきなどの提供等が提案された。

語句説明

①指定管理者制度…行政が実施する公共施設の管理・運営を、その分野に精通した民間事業者や団体が行う制度

令和3年度
一般会計決算
― 一般会計決算 ―

保育所等のバス送迎対応

近年、送迎バス幼児置き去りによる死亡が福岡県や静岡県で起きている。

Q なかよし学園や東ケ丘幼稚園でのバス送迎の安全確認は。

A なかよし学園では降車時に、降車していない子どもや忘れ物はないか、添乗の保育士と運転手の



▲降車時、添乗保育士と運転手でダブルチェック(なかよし学園送迎バス)

ダブルチェックを行っており、これまでにトラブルはなかった。また、指定席としており、事前に欠席連絡を確認している。

東ケ丘幼稚園でもバスは指定席で、欠席している子どもが把握できるようになってきている。また、降車時は並んでもらい、降車していない子どもはいないか添乗員が確認し、運転手と園長または副園長による確認を合計3回行っている。

Q バスに非常通報装置等を設置する考えは。

A 近隣自治体の状況や国の動向をみて検討していく。

妊産婦や新生児への支援

町内助産院を活用し、子育ての悩み等を持つ利用者同士のつどいの場や助産師のサポートによる孤立感の解消を図る。また、新生児期の聴覚障害検査で聴覚障害の早期発見につながる支援を開始。



▲妊娠から出産切れ目のない支援が充実

Q 本町における妊産婦支援のPRはどのようなか。

A 各教室等の機会を利用し周知している。また、東浦町独自施策の周知チラシも作成し、情報発信している。

Q 新生児聴覚障害検査・未受診の新生児はいるか。また再検査の場合、フォローはどのようにしているか。

A 3年度生まれの新生児は全員受診した。再検査の場合は医療機関でフォローし、保健センターは経過を確認している。

コミュニティ・スクールモデル事業

保護者や地域の人等が委員となる学校運営

協議会を設置し、地域とともにある学校の実現を目指す。

Q 西部中学校校区で協議会を開催したことによる成果は。

A 協議会を開催し直ちに学校や地域に成果もたらされる訳ではない。初年度は、これまでに実施されているさまざまな活動がコミュニティ・スクールでの地域学校協働活動^⑥であるという位置づけを、関係する方々に確認していただくものと考え、説明を行うことができた。

令和4年度
一般会計補正予算
― 一般会計補正予算 ―

生涯スポーツ振興事業費
報奨金増額

スポーツ庁は、5年度から7年度末を用途に休日の学校部活動から段階的に地域移行していくことを基本とした改革を推進。文化庁も文化系活動について同様に推進。



▲安心して活動できる部活へ(北部中学校、部活動の様子)

Q 新たな会議体を設置するのか。また、構成員、開催予定回数、スポーツ以外の文化系部活動も話し合うのか。

A 新たな会議体を設置し、名称は「学校部活動地域移行推進協議会(仮称)」。構成員15人以内、開催は3回を予定し、文化系の部活動も協議する。

Q 5年9月からの開始を目指すには時間に余裕がないが、今後の協議会で指導員の選定基準、待遇、責任の範囲等の規定を詰めるのか。

A 協議会で規定を協議していく。地域移行の実施には、国のガイドライ

ンや県の推進計画に沿った、町の推進計画を策定する必要がある。

オミクロン株対応
ワクチン接種

接種対象者は1・2回目の接種を終えた12歳以上の住民で約4万5000人分。

Q オミクロン株対応ワクチンの接種券の発送予定および接種券を紛失した際の対処方法は。

A 接種期間の到達ごとに、順次発送。接種券をすでに持っている人には、オミクロン株接種の案内を送付予定。また、紛失した場合は、東浦町コナワクチンコールセンターへ連絡をすれば、再発行する。



▲オミクロン株対応ワクチンで感染予防に

令和3年度

一般会計決算

町運行バス

「う・ら・ら」事業

Q バス運行委託料の今後の増額予定は。

A 現在、増額傾向だが、一定の金額を決めていく必要があると考えている。

Q 利用者数を増やして住民の利便性を向上させるための見解は。

A 移動しやすく交流できるまちを目標として、地域社会の活力向上、環境負荷の低減、渋滞の解消のため、広域的な交通網の構築に取り組み、公共交通の更なる利便性の向上を図っていく。

企業再投資促進補助金

町内に工場等を20年以上立地する企業の再投資を補助するもの。

Q 当初予算より減額した理由は。

A 導入する機械の見直しを図り、償却資産が減額となったため。

新型コロナウイルス

感染症

緊急経済対策事業

Q 各補助金等の実績は。

A 中小企業者等応援金は51件で、当初予算よりも多くなり、今まで支援が行き届かなかったさまざまな事業者へ支援ができた。

Q あいスタ認証^①飲食店支援金は62件で、住民が安心して飲食店を利用できるようにになった。

Q 中小企業者等事業継続支援補助金は執行率が50%を割ったが、業種を問わず36事業者に支援ができ、一定の成果があった。

景観まちづくり

Q 景観形成事業費補助金の少額決算額の理由

A 実績は1件であり、は。



▲補助対象となるぶどう畑の自然色ネット

部分的なネットの取替であったため。3年度からの新規事業である。

コンパクトなまちづくり

Q 東浦町立地適正化計画策定業務委託料の進捗および内訳は。

A 各種現況分析や誘導区域等の素案等を作成した。内訳は、直接人件費と直接経費を含めた直接原価。

令和4年度

一般会計補正予算

石ヶ瀬川ラバーダム^②

から農地への取水管復旧

石ヶ瀬川のラバーダムから北側の農地に送る取水管が破損したため、復旧策を講じるもの。

Q 年度内復旧の見込み、また、現在まで受益地に影響は出ていないか。

A 現在、取水管を開削方法で入れ替えるか、他から取水ができないのかを含め、河川管理者である県と協議を進めているが、年度内の復旧は難しい。

なお、用水は仮設ポンプにより受益地へ十分に供給できている状況である。



▲石ヶ瀬川のラバーダム

知多地域
3番目!

常任委員会会議録
インターネット
掲載開始!

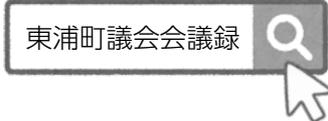
議会改革の一環として、令和4年6月定例会分から、これまでの本会議の会議録に加え、常任委員会(総務・文教厚生・経済建設)の会議録もインターネット上で閲覧できるようになりました。

議案等に対する質疑は、本会議の議案質疑では、1議案等に対し、1議員につき原則2回までですが、委員会では制限がないため、本会議よりも詳細な審議内容となっています。

令和4年9月定例会分の会議録は、11月30日に掲載予定です。

また、会議録は中央図書館でも閲覧することができ、ぜひご覧ください。

会議録を閲覧できます



東浦町議会
会議録
検索システム



語句説明

①あいスタ認証…「ニューあいちスタンダード」の略。感染防止対策が徹底された飲食店の認証制度

②ラバーダム…水をせき止める目的で川に建設される「せき」のうち、ゴム引布製のチューブに空気や水を注入・排出することで起伏させるもの